

大学教育

図書館×教材の電子化＝ 大学教育改革！

千葉大学アカデミック・リンクは挑戦する
—大学教育改革の観点から—

白川 優治
(千葉大学アカデミック・リンク・センター)



大学教育改革

「大学教育」といっても

- ・専門分野
 - ・授業内容
 - ・授業方法
- など

大学教育は個々の授業・授業担当者によって多様

近年の大学教育改革の方向性

- (1) 大学教育の充実＝単位の実質化(授業時間外学習)
- (2) 学習成果の可視化

(1) 大学教育の充実
単位の実質化(授業時間外学習)



バーチャルとリアルでの
学習環境整備

①バーチャルな学習環境の整備 Learning Management System (LMS) の活用

千葉大学では、2009年度よりLMSとして“Moodle”を利用

利用状況

・350コース(授業)

・6,000人(含教員)

2011年11月現在

Cf.) 千葉大学 学部学生数
10,765人



現在の著作権制度と大学教育

著作権制度の原則:

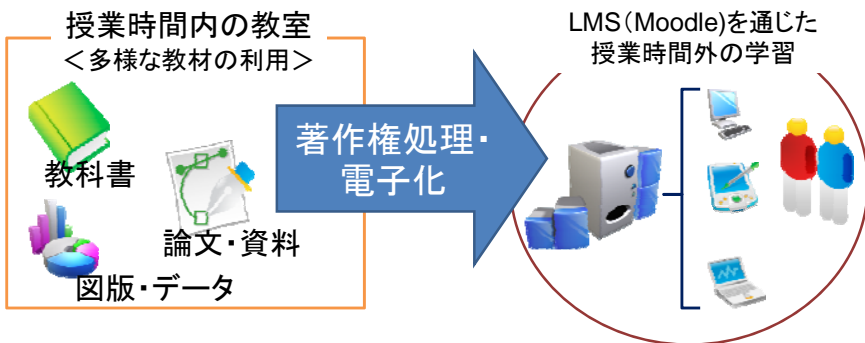
- 著作物の利用・複製頒布には著作権者の許諾が必要

学校その他の教育機関における複製等の例外:

- 一定の条件のもとで、著作権者の許諾を得ることなく複製利用することが可能

~~授業時間外学習(予習・復習)
e-learning の扱い~~

デジタルコースパック構築プロジェクト Digitally Packaged Course Project



コンテンツの電子化を通じた学習環境の整備

授業時間外学習の充実のために、授業教材の権利処理

2011年度

アカデミック・リンク・センターの実験的試行

自然科学分野の 授業での試行

- 反復が必要な基礎的内容の練習問題集をLMSにより提示
- 解説や概説の動画配信

人文社会科学分野の 授業での試行

- 講義形式の授業: 配布資料のLMSによる提示
- 演習形式の授業: 論文・文献の一部資料をLMSによる提示

アカデミック・リンクの挑戦①

出版社・著作権者の方への許諾依頼

- 当該論文・資料のコピー(電子ファイル)を作成し、サーバへアップロードします。
- 受講者は当該論文のコピーを閲覧またはダウンロード・印刷し、当該授業の予習・復習のための補助・参考教材として使用します。
- 学内サーバの設定により利用者は受講者に限定されます。

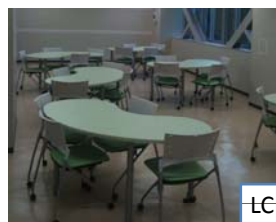
著作権者・関係者の皆様、よろしくお願いします

②リアルな学習環境整備 “Learning Commons”を含めた空間整備



アカデミック・リンクの挑戦②

多様な学習環境の整備

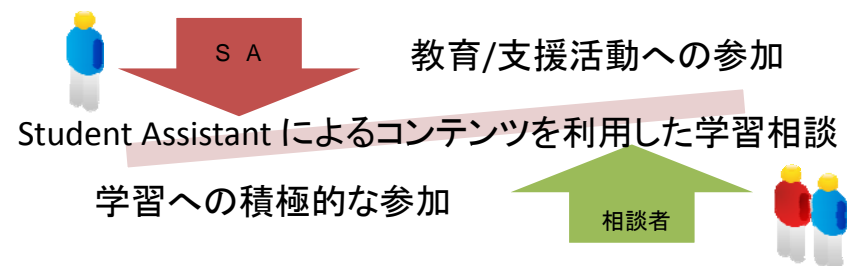


※写真はイメージ

アカデミック・リンクの挑戦②

学習環境に応じたサポート体制の構築

1) 人的支援: 「参加する学習」プロジェクト

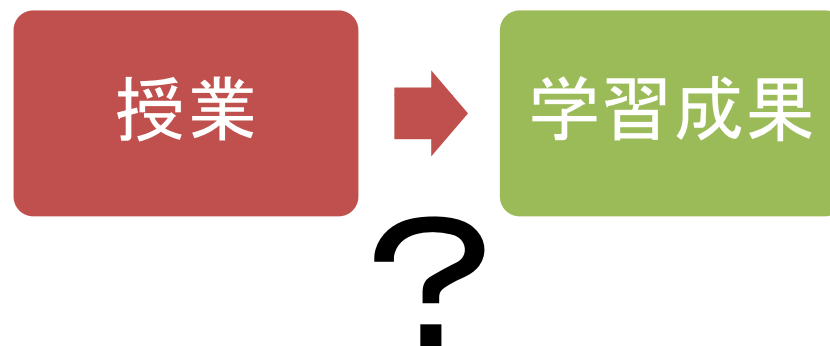


2) 物的支援: 多様なデバイスの利用環境

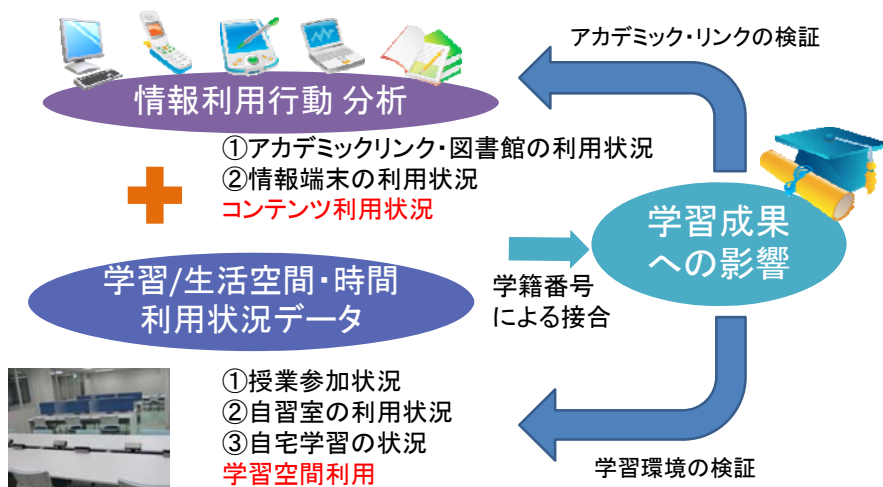


(2) 学習成果の可視化

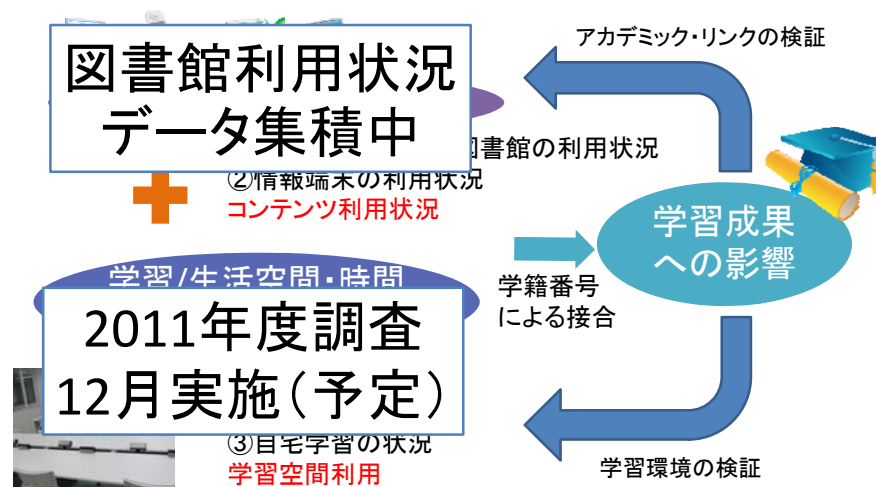
「学習成果」をどのようにとらえるか



情報利用行動定点観測プロジェクト Student Behavior Observatory



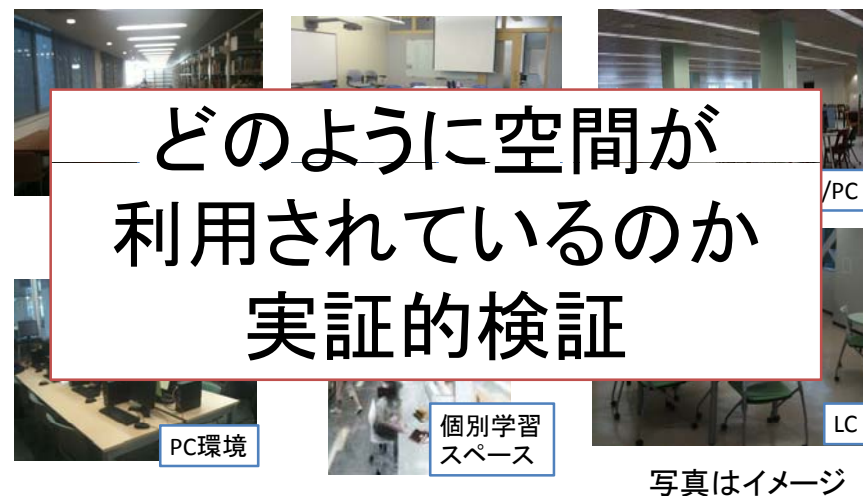
情報利用行動定点観測プロジェクト Student Behavior Observatory



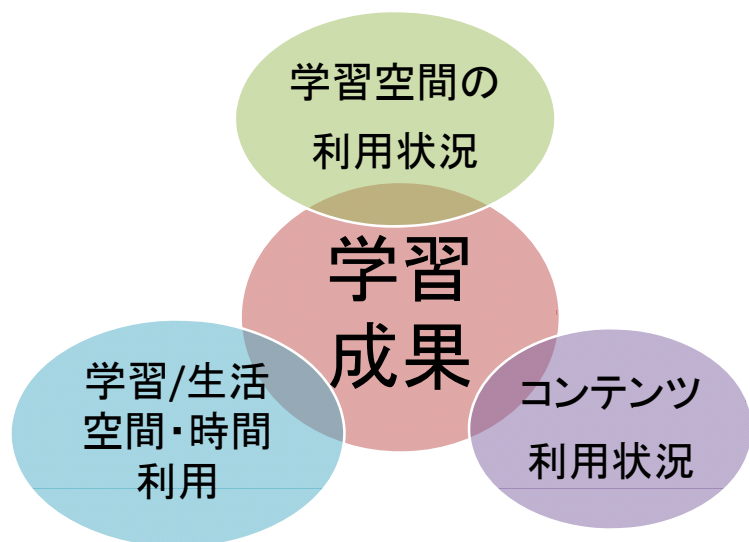
整備される多様な学習空間



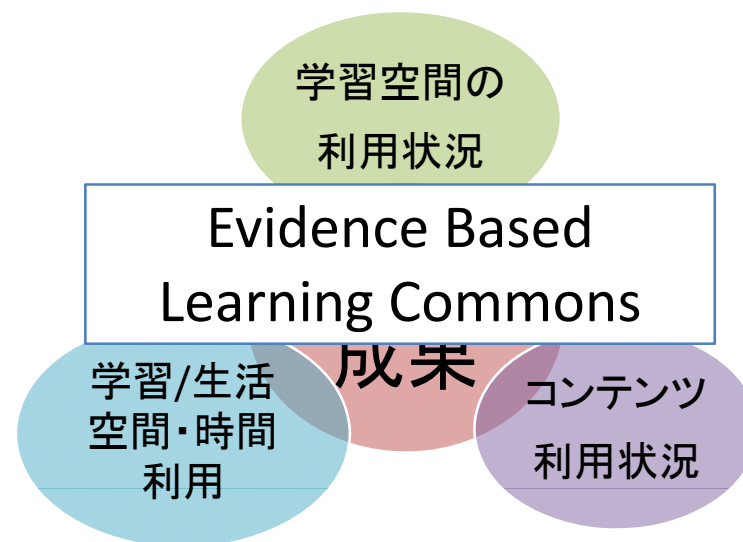
整備される多様な学習空間



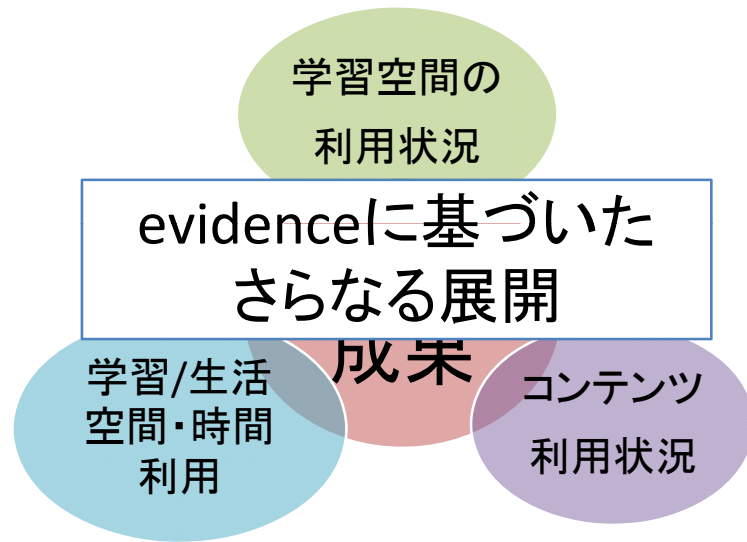
アカデミック・リンクの挑戦③



アカデミック・リンクの挑戦③



アカデミック・リンクの挑戦③



アカデミック・リンクの挑戦

